

現行

記載例

様式第 3 号 (第 6 条関係)

小田原市市民活動応援補助金事業計画書

表

1 事業の目的

(どうしてこの事業を行おうとしているのか)
(この事業を行うことで、どのような状態をつくりたいのか)

【記入のポイント】

- どのような課題を解決するために事業を行おうとしているか。
- どのようなことを目的に事業を計画したか。
- この事業を行うことで、どのような効果を狙っているか。

2 事業の内容とスケジュール

(何をどのように行うのか)

- (例) 内 容： 1. ○○○講演会 2. □□□□研修会
対象と人数： ○○○○ △名 □□□□ ○名
実施日程： 平成○○年□月△日 平成○○年□月△日、○月×日、…
実施場所： □□□□ △△△△△△△△
その他：

事業の内容、対象と人数、実施日程、実施場所について詳しく記入。
事業の内容がいくつかある場合は、その内容ごとに記入。

3 事業の効果と今後の展望

裏

(2～3年後、どのようになっていることを想定しているか)
(今後、この事業をどう発展、継続していくのか)

【記入のポイント】

- 申請した事業について、今後どのように展開していくのか。
- 申請した事業について、どのように発展・継続させていく予定か。

【以下は該当の場合のみご記入ください】

4 同一事業で2回目以降の補助を申請する場合にお尋ねします。過去に補助金を受けたことによる事業の成果、そして今回、更に補助金を受けた場合、事業をどのように展開していくかなど、事業を取り巻く経年の状況をご記入ください。

5 これまで補助を受けた事業と別の事業名で申請する場合にお尋ねします。「これまでの事業」と「今回申請する事業」との相違点をご記入ください。